

早乙女姿 高校生が丁寧 津島神社の「お田植祭」

津島神社の「お田植祭」が二十日、愛西市下一色町の神饌田であり、清林館高校の生徒が早乙女姿などで苗を丁寧に植えた。

神事に使う米を育てる儀式で、一時、途絶えていたが、一九九八年から復活した。毎年、五月下旬の田植えの時期に合わせて営まれている。

生徒十三人は、神事に続いて水田内に入り、神職が打つ太鼓の「ドーン」という音に合わせて「あいちの

かおり」の苗を植えた。早乙女役の生徒は花がさをかぶり、着用した鮮やかな衣装が水を張った水田に映えた。

生徒会長の谷口蒼佳さん（二モ）は「初めて参加したが、泥の感触が気持ちよくて、もっと植える作業をしてもいいと思った。こんな貴重な体験ができてありがたく、おいしい米が育ってほしい」と話した。

(吉田幸雄)



鮮やかな花がさをかぶり、苗を植える生徒ら＝愛西市下一色町で

(c)中日新聞社 無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています